（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス　ギブアンドテイク・ハウス | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年2月1日 | ～ | 2026年3月31日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | 19名 | （回答者数） | 13名 | |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年2月1日 | ～ | 2026年3月31日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | 6名 | （回答者数） | 6名 | |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年3月31日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | こどもが安心して楽しく通所できる支援の提供 | こどもの特性や状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、活動内容が固定化しないよう職員間で検討している。 | こどもの意見や保護者の声を取り入れ、活動の選択肢と安心して過ごせる環境をさらに充実させる。 |
| 2 | 個別支援計画に基づく支援と継続的な記録・見直し | 計画策定会議を実施し、日々の支援記録と定期的なモニタリングを通じて支援内容を確認している。 | 計画内容と支援上の留意点を職員間で継続して共有し、記録を次の支援や計画の見直しに生かす。 |
| 3 | 職員の意見を取り入れた活動づくりと支援改善 | 活動プログラムをチームで立案し、職員の意見を把握する機会や研修の機会を設けている。 | 職員間で工夫や改善事例を共有し、研修で得た知識を日々の支援に反映させる。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 保護者への説明・面談機会の充実 | 保護者評価では、計画書の内容が分かりにくいとの意見や、定期的な面談がないとの意見があった。 | 計画更新時などに面談・説明の機会を設け、支援内容やこどもの状況について相互理解を深める。 |
| 2 | 支援終了後の職員間の振り返り時間の確保 | 送迎等により職員がそろう時間を確保しにくい。LINEや記録欄による情報共有で補っている。 | 記録欄や申し送り方法を整理し、短時間でも支援の振り返りと課題共有ができる仕組みを整える。 |
| 3 | 環境整備と関係機関との連携の充実 | 設備の一部にバリアフリー面の課題があり、地域の関係機関との連携も十分とはいえない。 | 安全性・利用しやすさを点検し、対応可能な環境改善を進める。学校や関係機関との情報共有の機会を増やす。 |